

水稲品種「サチミドリ」について

橘高昭雄・新村善弘・上野貞一・衛藤信男

(宮崎県総合農業試験場)

KITSUTAKA, A., SHINMURA, Y., UENO, S., and ETO, N.

A New Rice Variety "Sachimidori"

前後作の関係で早生化の傾向の強い中山間および山麓地帯むきの水稲品種として「サチミドリ」が育成され、昭和40年より福岡県および長崎県の奨励品種として普及しているの、育成の経過および特性の概要をのべて参考に供する。なお、本品種育成にあたり試験に協力いただいた関係各県農業試験場担当者各位に深甚の謝意を表する。

来歴ならびに育成経過

サチミドリは昭和28年、宮崎県農業試験場（農林省指定試験地）で「タカチホ」を母、「黄金錦」を父として交配し、以来同場で系統育種法により選抜固定をはかり、昭和36年より「南海23号」の系統名で関係県に配付して地方適否を確かめてきたもので、昭和40年6月、水稲農林170号に登録され「サチミドリ」と命名されたものである。

特性概要

1. 形態的特性

稈長と穂数は金南風と農林22号の中間程長で穂長は両品種より長い中稈中間型の稈種である。稈の大きさは中位で、止葉は立ち、熟色は鮮美である。無芒で稈先色はなく、粒着密度は中、脱粒性は難で、玄米は中形中粒、心白・腹白ともに少なく品質食味ともに良好である。

2. 生態的特性

出穂および成熟期は農林22号より遅く、金南風よりやや早く、九州では早生に属する。稈長は金南風より10cmほど長く、穂も大きい、強稈で耐倒伏性は金南風に劣らない。葉イモチ病および穂いもち病耐病性は農林22号程度でやや強に属する。シラハガレ病には金南風より強いが農林22号に及ばず、やや弱である。イネカラバエ耐虫性は強である。生産力は特に高くはないが、その強稈性とあいまって普及の見込まれる早生地帯では農林22号や黄金錦より安定して多収をあげている。

第1表 一般特性

品種	形質	出穂期 月日	成熟期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本	抵抗性				α当 玄米 重Kg	同左 比率 %	玄米 千粒 重g	品質	食味
							倒伏	ハイモチ	ホイモチ	白ハガレ					
サチミドリ		8.25	9.27	84	21.3	279	中	や強	や強	や弱	38.9	101	22.3	上下	上
農林22号		8.24	9.26	93	20.4	266	弱	や強	や強	中	38.5	100	21.4	上中	上
金南風		8.27	10.1	77	19.4	297	中	中	や弱	弱	40.4	105	22.8	中中	中
調査地(年)	宮崎県農試(昭39)、但し抵抗性は特検成績、食味は採用県の成績を参考にした。														

適地および奨励品種採用県

本品種は農林22号のもつイモチ病耐病性と良質性を維持しながら、その倒伏抵抗性を改善しようとして育成されたもので、九州四国の中間、山麓地帯および一般平地の早生として適するものと考えられる。対象となる品種は農林22号、金南風、東山38号、黄金錦などである。

福岡県および長崎県で昭和40年から奨励品種とし

て普及に移され、将来約8,000haの普及が見込まれている。

栽培上の注意

作り易い品種であるが、穂数がやや少ないので早植え密植が好ましい。シラハガレ病に強くないので、同病多発地帯は不向きであり、また、耐冷性あるいは熟期などの点からみて、山間高冷地での栽培は避けねばならない。

第2表 採用県における収量比

場所 品種	福岡県					場所 品種	長崎県			
	本場早植	本場標肥	本場多肥	豊前分場	筑後分場		本場標準	本場早植	本場直直	杵岐センター
サチミドリ	103	107	102	107	110	サチミドリ	100	110	108	88
農林22号	100	100	100	100	100	農林22号	100	100	—	100
金南風	102	106	101	113	117	黄金錦	—	—	100	—
試験年	36	36~39	37~39	36~37	39	試験年	36~39	39	39	39

命名の由来

イモチ病に強く、葉色の美しいことにちなむ。

結 言

本品種は前後作の関係で早生化傾向にある九州平坦山麓から中山間稲作地帯で、イモチ病に強く、強稈良質な品種として好適し、農林22号の倒伏性を改

良したものとして、また、金南風の品質を改良したものとして、これら品種に替わって普及するものと思われる。しかし、シラハガレ耐病性は不十分であるので、全病多発地には適さず、この点について改良の余地が残されている。

